

## 体育科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成20年11月〇日

2 学 年 第3学年〇組

3 単元名 「ポートボール」

4 単元について

○ 本単元は、高学年で行うバスケットボールの前段階として扱うものである。ポートボールとバスケットボールとの大きな相違点は、リングにシュートするのではなくゴールマンへのパスを成功させると得点になることや特別に設けられたゾーンでシュートを妨害するガードマンが存在することである。ゲームを成立させるために必要となる技能としては、バスケットボールと同様のドリブル、パス、パスキャッチ、シュート等がある。これらの技能を駆使してボールを運び、得点に結び付けることがゲームの楽しさと考えることができる。

○ 本学級の児童は、低学年のゲーム領域の学習において、ドッジボールを使った運動に取り組んでおり、そこでボールを投げたり、捕球したりすることは経験している。しかし、ポートボールに必要なドリブル（体を移動させながらのボール操作）やパス（受け手の移動速度に合わせたパス出しや相手が捕球しやすいスピードのパス出し）については経験が少ない。また、児童間で運動経験の差が大きく、ボールの扱いが巧みな児童がいる反面、自分に向かって飛んでくるボールに対して恐怖感を持っている児童も多い。

○ 指導にあたっては、まず、補助運動として「パワーアップタイム」を設定し、ポートボールのゲームをするうえで必要となる基礎的な体力を身に付けさせたい。そして、ボールに対する恐怖感を少しでも和らげるようにボールハンドリングや投げ上げたボールを自らキャッチするといったボールに慣れる運動を取り入れていきたい。

また、ドリブルやパスについては、その場でできる動きから移動しながら行う動きへと、易から難へスモールステップで課題を設定することにより、基本技能の向上を図るとともに児童一人一人に「できた」という達成感を味わわせていきたい。

さらに、身に付けた技能を敵と相対するゲームの中で駆使することができるように、授業の構成を一単位時間の中でドリルタイム（基本的な技能を高める運動）とミニゲームを毎時間行うことにした。その時間のドリルタイムで身に付けたり、高めたりした技能を使ったミニゲームを工夫することにより、自らの技術的な伸びや課題が意識できるようになると考えられる。

児童が主体的に学ぶためには、自分に合った目標や課題を持たせたり、新たなことやできないことに対してあきらめずに挑戦する気持ちを持たせたりすることが必要と考える。そこで、個々の児童に対して運動の質を高めることができるような教師の声かけやスモールステップでの課題を持たせるとともに、できたと実感できる評価を行っていきたい。

5 単元の目標

○ コート内で攻守入り交じってボールを手で扱い、簡単な技能を身に付けて、ゲームが楽しくできるようにする。

- ・ ドリブルやパスをして攻め、早くもどって守るようなゲームをする。
- ・ 空いているところへドリブルをしたり、方向を決めてパスをしてボールをつないだり、シュートをしたりするなどの簡単な技能を身に付ける。

6 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分やチームに合った課題を持って運動に取り組もうとする。</li> <li>・積極的に運動に取り組もうとする。</li> <li>・運動をする場所や用具の安全に気を付けて運動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻撃や守備のためのよりよい動きを身に付けるための運動の仕方を工夫している。</li> <li>・身に付けた基本技能をゲームに生かす方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブルやパス，シュートなどの基本技能を身に付けている。</li> </ul>

7 指導計画

次	時	指導過程		
		主な学習活動	教師のはたらきかけ	主な評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>・パワーアップタイムについて内容や運動の方法を知る。</li> <li>〔ペーパーリング投げ フープステップ〕</li> <li>〔ハードルジャンプ コンタッチ〕</li> <li>○ボール慣れ</li> <li>・ボールハンドリングなどでボールに慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性や方法を説明する。</li> <li>・児童一人一人の実態に応じたテーマの選び方を助言する。</li> <li>・できた回数を競ったり，難易度を段階的に上げたりするなどゲーム性を持たせて行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運動への関心・意欲・態度】</li> <li>・自分やチームに合った課題を持って運動に取り組もうとする。</li> <li>【運動への関心・意欲・態度】</li> <li>・運動をする場所や用具の安全に気を付けて運動しようとする。</li> </ul>
第二次	2 3 4 5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パワーアップタイム</li> <li>〔ペーパーリング投げ フープステップ〕</li> <li>〔ハードルジャンプ コンタッチ〕</li> <li>○ドリルタイム</li> <li>・ドリブル</li> <li>・パス</li> <li>○ミニゲーム</li> <li>・ドリブル相撲</li> <li>・鳥かごパスゲーム</li> <li>・シュートゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい方法で運動を行っているか確認し，適切な助言を行う。</li> <li>・その場での動きから移動を伴う動きへなど難易度を徐々に上げるように運動の時間設定を行う。</li> <li>・ドリルタイムの内容を踏まえて，ゲームの内容を選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運動への関心・意欲・態度】</li> <li>・自分やチームに合った課題を持って運動に取り組もうとする。</li> <li>【運動の技能】</li> <li>・ドリブルやパス，シュートなど基本技能を身に付けることができる。</li> <li>【運動についての思考・判断】</li> <li>・攻撃や守備のためのよりよい動きを身に付けるための運動の仕方を工夫している。</li> </ul>
第三次	6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パワーアップタイム</li> <li>〔ペーパーリング投げ フープステップ〕</li> <li>〔ハードルジャンプ コンタッチ〕</li> <li>○フルコートゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい方法で運動を行っているか確認し，適切な助言を行う。</li> <li>・最後までがんばっているチームに賞賛の声かけをするだけでなく，具体的にどこがいいのか他のチームに知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運動への関心・意欲・態度】</li> <li>・積極的に運動に取り組もうとする。</li> <li>【運動についての思考・判断】</li> <li>・身に付けた基本技能をゲームに生かす方法を工夫している。</li> </ul>

8 本時の学習

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分に合った課題を持って運動に取り組むことができるようにする。</li> <li>○ 移動しながらドリブルやパスができるようにする。</li> </ul>	
学習活動	教師のはたらきかけ	評価規準・方法
<p>1 準備運動</p> <p>2 パワーアップタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーリング投げ【投力】</li> <li>・フープステップ【走力】</li> <li>・ハードルジャンプ【跳力】</li> <li>・コーンタッチ【敏捷性】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ体操を行い、けがの防止に努める。</li> <li>・目標を持たせたり、動きの質を高めたりできるように適切な助言を行う。</li> </ul>	<p>【運動への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を持って運動に取り組もうとしているか。(行動観察)</li> </ul>
<p><b>体を移動させながらドリブルやパスができるようになろう</b></p>		
<p>3 ドリルタイム</p> <p>【ドリブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その場でドリブル</li> <li>・数字読み取りドリブル</li> <li>・ドリブルで散歩(片手から両手交互)</li> </ul> <p>【パス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークルパス</li> <li>・ランニングパス</li> </ul> <p>4 ミニゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブル相撲</li> <li>・鳥かごパスゲーム</li> </ul> <p>5 まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場での動きから移動を伴う動き(易から難)へと運動の質を高めるように時間設定を行う。</li> <li>・ドリブルでは、正確にボールをつくことができるように支援する。</li> <li>・パスでは、走るスピードに合わせてパスが出せるように支援する。</li> <li>・新たなことやできないことをあきらめずに挑戦することができるようにスモールステップで課題を持たせ、児童自身ができた実感できる評価を行う。</li> <li>・ボールをはじかれたり、取られたりしないようにするためにはどのようにすればいいのか考えさせるように声をかける。</li> <li>・ゲームに対して意欲的に参加することができるように楽しめる場を工夫する。</li> <li>・今日の授業で一番がんばったことをカードに記入させる。</li> </ul>	<p>【運動への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を持って運動に取り組もうとしているか。(行動観察)</li> </ul> <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動しながらドリブルやパスができているか。(行動観察)</li> </ul> <p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動しながらドリブルやパスができているか。(行動観察)</li> </ul>